

平成24年 4 ～ 6 月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	246,266 円		
前年同期比	名目 1.8%の増加	実質 1.5%の増加	
二人以上の世帯は,	286,556 円		
前年同期比	名目 3.0%の増加	実質 2.7%の増加	
単身世帯は,	151,082 円		
前年同期比	名目 2.3%の減少	実質 2.6%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.7%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.9%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 3.2%の減少

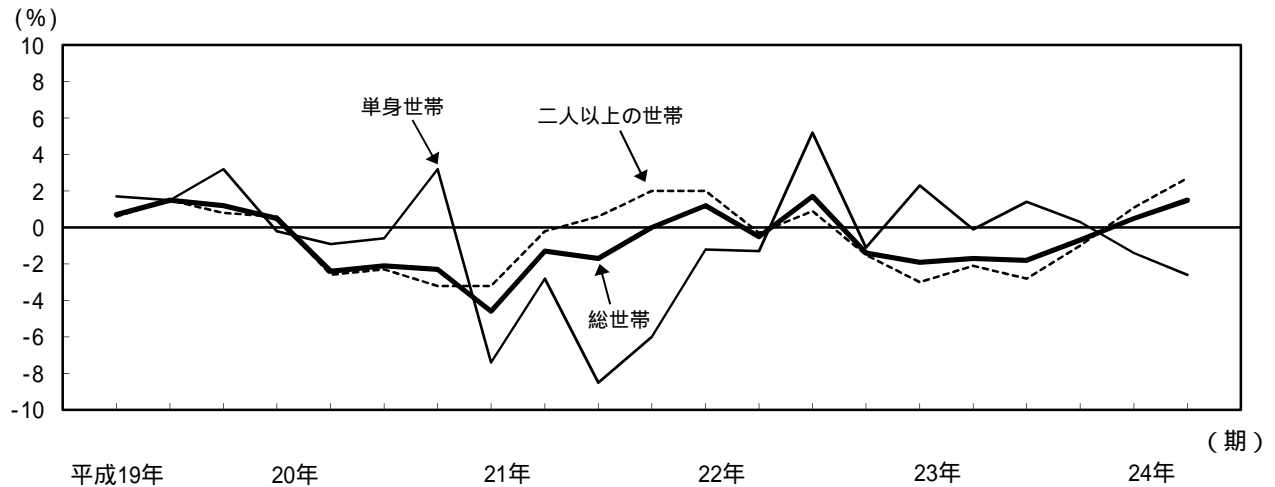
: 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 2.3%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.9%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.3%の増加
	平均消費性向	69.7	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 2.6%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 2.2%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 2.4%の増加
	平均消費性向	73.3	%

消費支出の推移

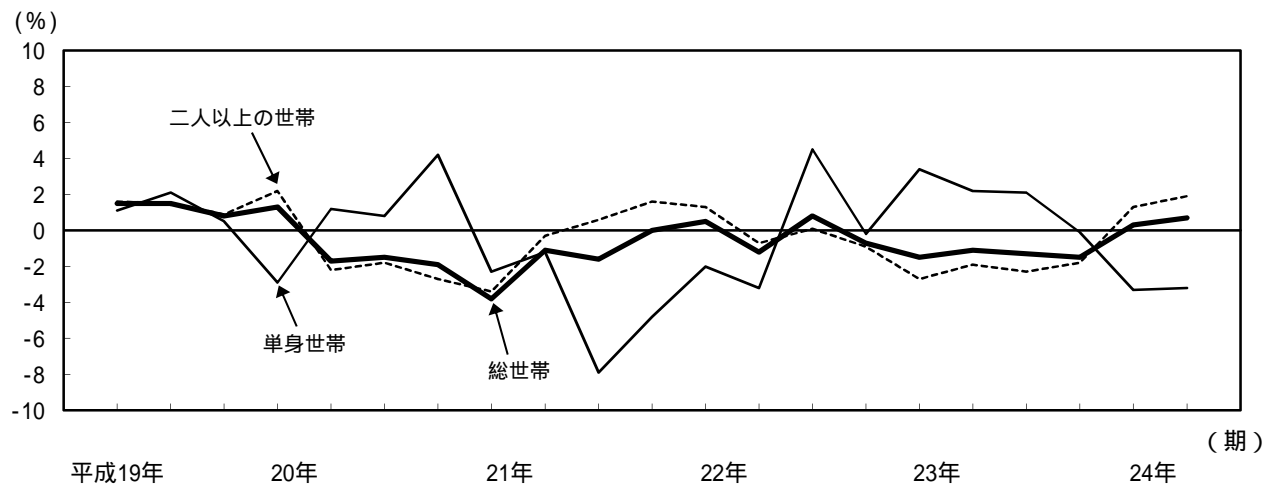
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成21年			22年				23年				24年	
総世帯	-1.3	-1.7	0.0	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5	1.5
二人以上の世帯	-0.2	0.6	2.0	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1	2.7
単身世帯	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4	-2.6

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

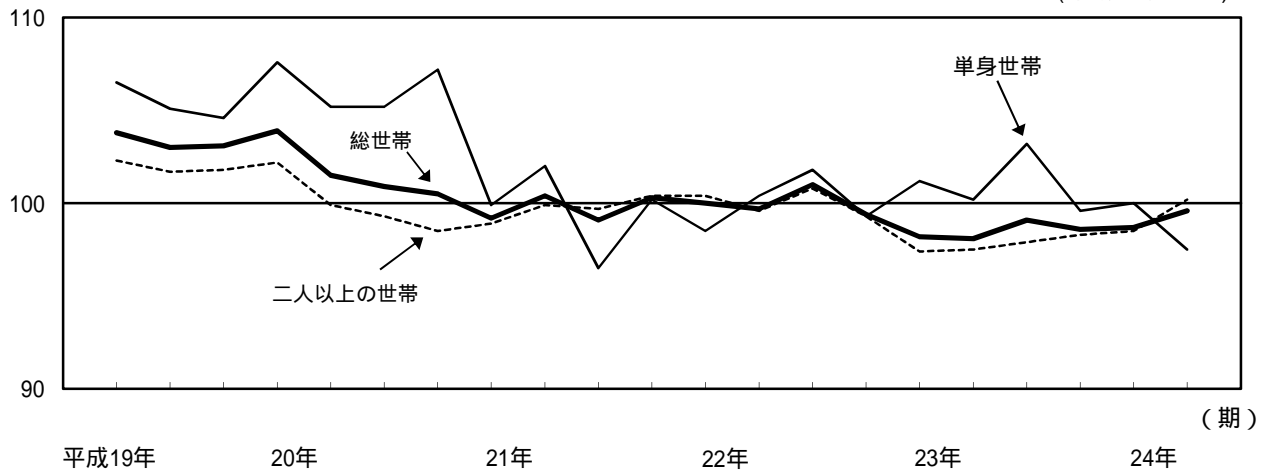


消費支出(除く住居等)	平成21年			22年				23年				24年	
総世帯	-1.1	-1.6	0.0	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3	0.7
二人以上の世帯	-0.3	0.6	1.6	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3	1.9
単身世帯	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3	-3.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

（平成22年 = 100）



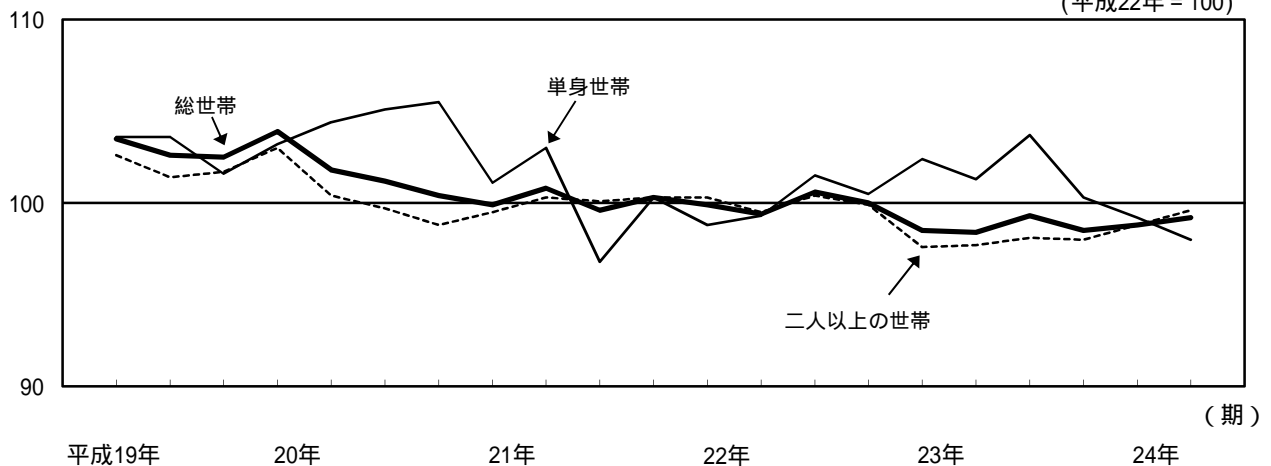
消費支出	平成21年			22年				23年				24年	
総世帯	100.4	99.1	100.3	100.0	99.7	101.0	99.4	98.2	98.1	99.1	98.6	98.7	99.6
対前期変化率(%)	1.2	-1.3	1.2	-0.3	-0.3	1.3	-1.6	-1.2	-0.1	1.0	-0.5	0.1	0.9
二人以上の世帯	99.9	99.7	100.4	100.4	99.6	100.8	99.3	97.4	97.5	97.9	98.3	98.5	100.2
対前期変化率(%)	1.0	-0.2	0.7	0.0	-0.8	1.2	-1.5	-1.9	0.1	0.4	0.4	0.2	1.7
単身世帯	102.0	96.5	100.2	98.5	100.4	101.8	99.3	101.2	100.2	103.2	99.6	100.0	97.5
対前期変化率(%)	2.1	-5.4	3.8	-1.7	1.9	1.4	-2.5	1.9	-1.0	3.0	-3.5	0.4	-2.5

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

図4 消費支出（除く住居等）（季節調整済実質指数）の推移

（平成22年 = 100）



消費支出(除く住居等)	平成21年			22年				23年				24年	
総世帯	100.8	99.6	100.3	99.9	99.4	100.6	100.0	98.5	98.4	99.3	98.5	98.8	99.2
対前期変化率(%)	0.9	-1.2	0.7	-0.4	-0.5	1.2	-0.6	-1.5	-0.1	0.9	-0.8	0.3	0.4
二人以上の世帯	100.3	100.1	100.3	100.3	99.5	100.4	99.9	97.6	97.7	98.1	98.0	98.8	99.6
対前期変化率(%)	0.8	-0.2	0.2	0.0	-0.8	0.9	-0.5	-2.3	0.1	0.4	-0.1	0.8	0.8
単身世帯	103.0	96.8	100.3	98.8	99.3	101.5	100.5	102.4	101.3	103.7	100.3	99.2	98.0
対前期変化率(%)	1.9	-6.0	3.6	-1.5	0.5	2.2	-1.0	1.9	-1.1	2.4	-3.3	-1.1	-1.2

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年4～6月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	246,266	1.8	1.5	1.5		2期連続の実質増加
食 料	57,308	0.3	-0.3	-0.07	<減 少> 外食, 魚介類など	5期ぶりの実質減少
住 居	18,936	1.9	2.1	0.16	<増 加> 設備修繕・維持	4期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	18,737	5.0	1.0	0.07	<増 加> 電気代, ガス代など	2期連続の実質増加
家具・家事用品	8,096	-1.9	1.8	0.06	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	14期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	9,974	-3.0	-2.9	-0.12	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	3期ぶりの実質減少
保 健 医 療	10,136	-4.0	-3.0	-0.13	<減 少> 保健医療サービス	2期連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	34,703	14.2	13.9	1.74	<増 加> 自動車等関係費, 交通など	2期連続の実質増加
教 育	9,987	9.7	9.4	0.35		
教 養 娛 楽	25,827	-1.0	0.0	0.00	<同水準>	
その他の消費支出	52,561	-2.1	(-2.4)	(-0.54)	<減 少> こづかい, 仕送り金など	7期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[1.59]	自動車購入, 自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.55]	外壁・塀等工事費, 給排水関係工事費
教養娯楽サービス	[0.42]	国内パック旅行費
家庭用耐久財	[0.15]	電気冷蔵庫, エアコンディショナ
交通	[0.12]	鉄道通学定期代, 鉄道通勤定期代

< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.46]	テレビ, ビデオデッキ
家賃地代	[-0.39]	公営家賃, 民営家賃
保健医療サービス	[-0.19]	歯科診療代, 他の入院料*
外食	[-0.14]	飲酒代, すし(外食)
交際費	[-0.11]	贈与金

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

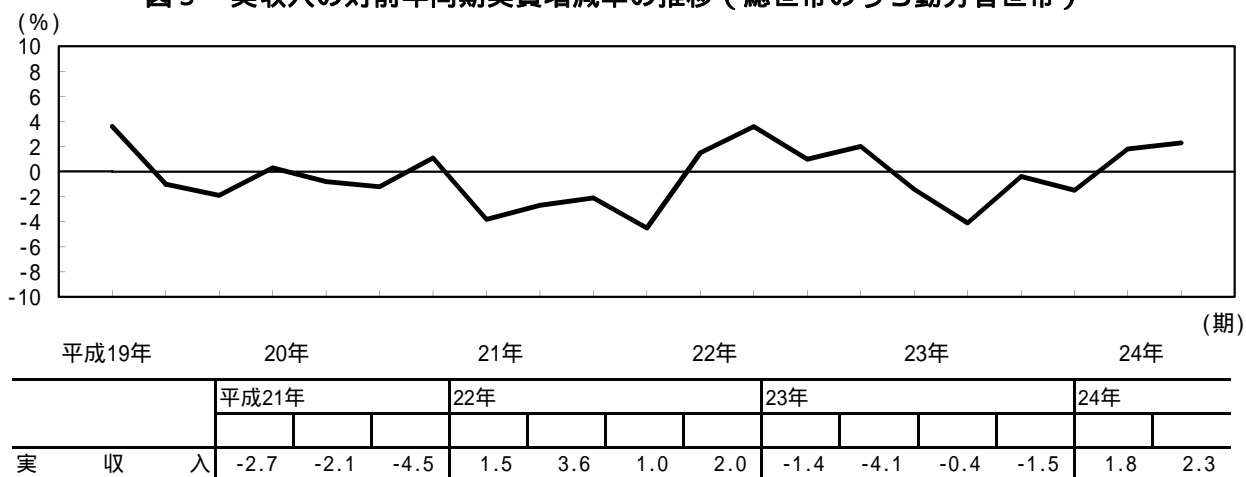
* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年4～6月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	486,942	2.6	2.3	2.3	2期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	400,118	1.5	1.2	1.01	2期連続の実質増加
定 期 収 入	328,723	0.4	0.1	0.06	3期連続の実質増加
臨 時 収 入・賞 与	71,395	7.1	6.8	0.95	2期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	43,064	9.7	9.4	0.78	3期連続の実質増加
う ち 女 性	42,618	9.6	9.3	0.76	3期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	6,888	-5.6	-5.9	-0.09	5期連続の実質減少
非 消 費 支 出	97,097	4.5	-	-	4期連続の増加
可 処 分 所 得	389,845	2.2	1.9	-	2期連続の実質増加
消 費 支 出	271,829	0.6	0.3	-	2期連続の実質増加
平 均 消 費 性 向(%)	69.7	(前年同期) (ポイント差) 70.8 -1.1			

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成24年4～6月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	286,556	3.0	2.7	2.7		2期連続の実質増加
食 料	66,084	1.2	0.6	0.15	<増 加> 外食,乳卵類など	3期連続の実質増加
住 居	18,850	3.1	3.3	0.22	<増 加> 設備修繕・維持	2期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	22,151	4.9	0.9	0.06	<増 加> 電気代,ガス代など	2期連続の実質増加
家具・家事用品	9,684	-2.2	1.5	0.05	<増 加> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	5期連続の実質増加
被服及び履物	11,496	0.0	0.1	0.00	<増 加> 和服,他の被服など	3期連続の実質増加
保健医療	12,080	-2.4	-1.4	-0.06	<減 少> 保健医療サービス	2期ぶりの実質減少
交通・通信	40,894	17.2	16.8	2.12	<増 加> 自動車等関係費,交通	2期連続の実質増加
教 育	14,211	10.4	10.1	0.47	<増 加> 授業料等,補習教育	4期連続の実質増加
教養娯楽	29,123	0.3	1.3	0.14	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品	2期連続の実質増加
その他の消費支出	61,983	-1.5	(-1.8)	(-0.40)	<減 少> こづかい,仕送り金など	17期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[1.84]	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.45]	外壁・塀等工事費,給排水関係工事費
教養娯楽サービス	[0.45]	国内パック旅行費,宿泊料
授業料等	[0.38]	私立大学,私立中学校
交通	[0.29]	航空運賃,鉄道運賃
家庭用耐久財	[0.12]	電気冷蔵庫,エアコンディショナ
諸雑費	[0.12]	非貯蓄型保険料,ハンドバッグ
外食	[0.11]	飲酒代,和食

< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.42]	テレビ,ビデオデッキ
家賃地代	[-0.23]	公営家賃,地代
保健医療サービス	[-0.15]	歯科診療代,他の入院料*

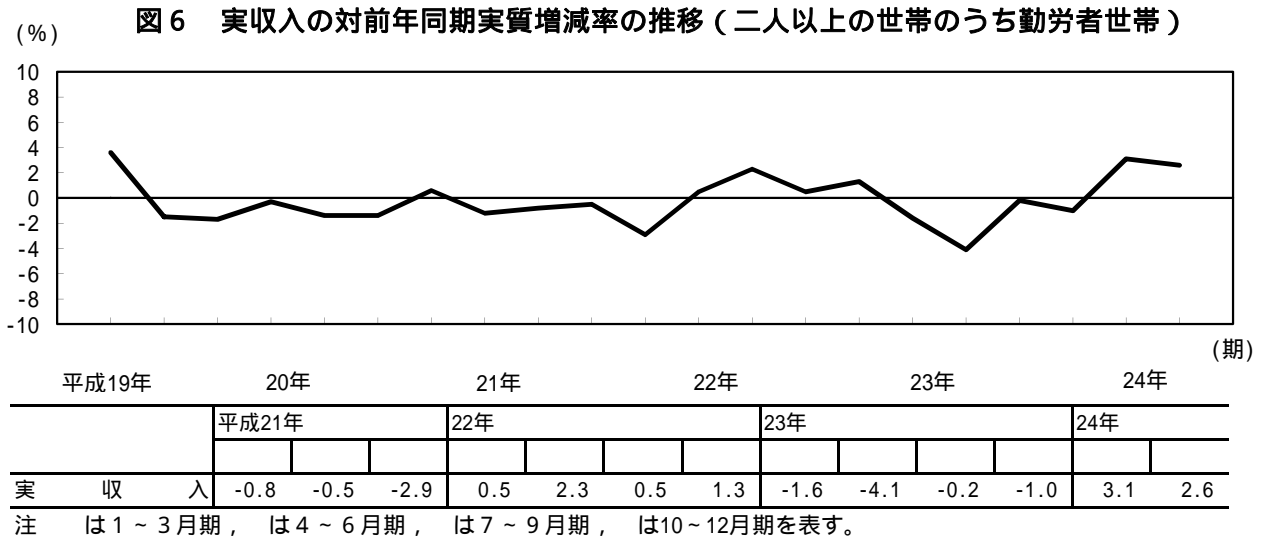
注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成24年4～6月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	533,232	2.9	2.6	2.6	2期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	419,880	1.5	1.2	0.98	2期連続の実質増加
定 期 収 入	347,704	0.2	-0.1	-0.08	3期ぶりの実質減少
臨時収入・賞与	72,175	8.6	8.3	1.06	2期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	58,935	10.5	10.2	1.04	3期連続の実質増加
う ち 女 性	58,325	10.3	10.0	1.02	3期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	9,428	-4.9	-5.2	-0.10	5期連続の実質減少
非 消 費 支 出	107,205	4.4	-	-	4期連続の増加
可 処 分 所 得	426,027	2.5	2.2	-	2期連続の実質増加
消 費 支 出	312,220	2.7	2.4	-	2期連続の実質増加
平均消費性向(%)	73.3	(前年同期) 73.1	(ポイント差) 0.2		



． 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成24年4～6月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	151,082	-2.3	-2.6	-2.6		2期連続の実質減少
食 料	36,579	-2.4	-3.0	-0.73	<減 少> 外食,魚介類など	5期ぶりの実質減少
住 居	19,148	-1.0	-0.8	-0.09	<減 少> 家賃地代	4期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	10,670	7.2	3.1	0.20	<増 加> ガス代,上下水道料など	2期連続の実質増加
家具・家事用品	4,346	1.4	5.2	0.14	<増 加> 家庭用耐久財,家事サービスなど	3期連続の実質増加
被服及び履物	6,380	-13.0	-12.9	-0.61	<減 少> 和服,洋服など	5期ぶりの実質減少
保健医療	5,543	-10.4	-9.5	-0.38	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2期連続の実質減少
交通・通信	20,077	2.6	2.3	0.29	<増 加> 自動車等関係費,通信	2期連続の実質増加
教 育	0	-	-	-		
教 養 娛 楽	18,041	-5.2	-4.2	-0.52	<減 少> 教養娯楽用耐久財,書籍・他の印刷物など	3期連続の実質減少
その他の消費支出	30,298	-3.9	(-4.2)	(-0.85)	<減 少> 諸雑費,交際費	3期連続の減少

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

外食	[-1.22]	飲酒代,すし(外食)
家賃地代	[-1.08]	民営家賃,公営家賃
諸雑費	[-0.76]	冠婚葬祭費,寄付金
教養娯楽用耐久財	[-0.61]	テレビ,パーソナルコンピュータ
交通	[-0.59]	鉄道運賃,航空運賃
保健医療サービス	[-0.36]	歯科診療代,内科診療代

< 増加項目 >

設備修繕・維持	[1.00]	外壁・塀等工事費,給排水関係工事費
自動車等関係費	[0.64]	ガソリン,自動車購入
教養娯楽サービス	[0.34]	国内パック旅行費,NHK放送受信料
家庭用耐久財	[0.30]	エアコンディショナ,電気冷蔵庫

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年4～6月期 - 総世帯）

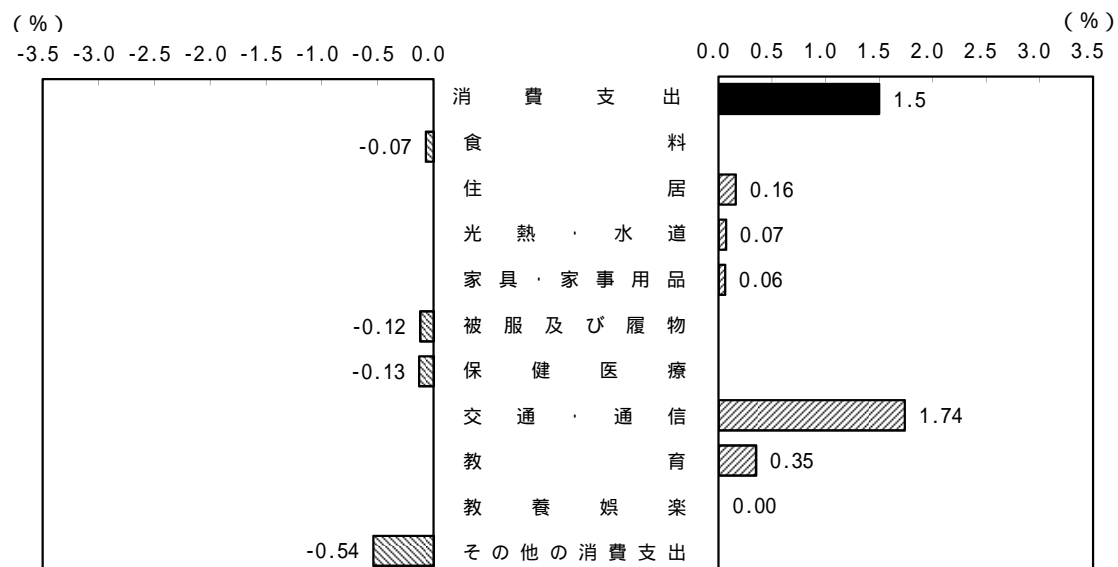


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年4～6月期 - 二人以上の世帯）

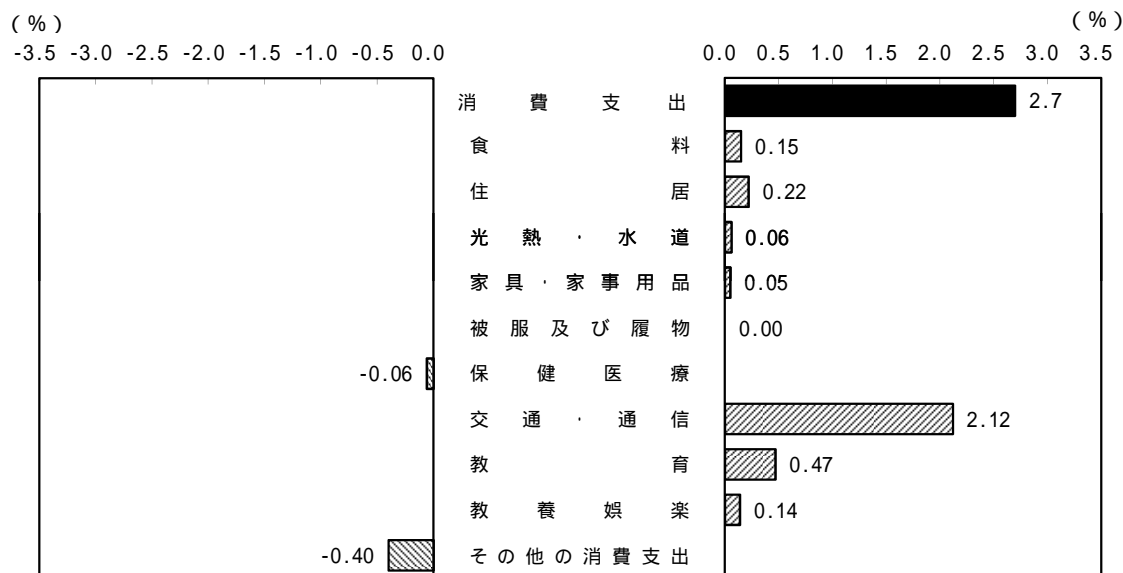
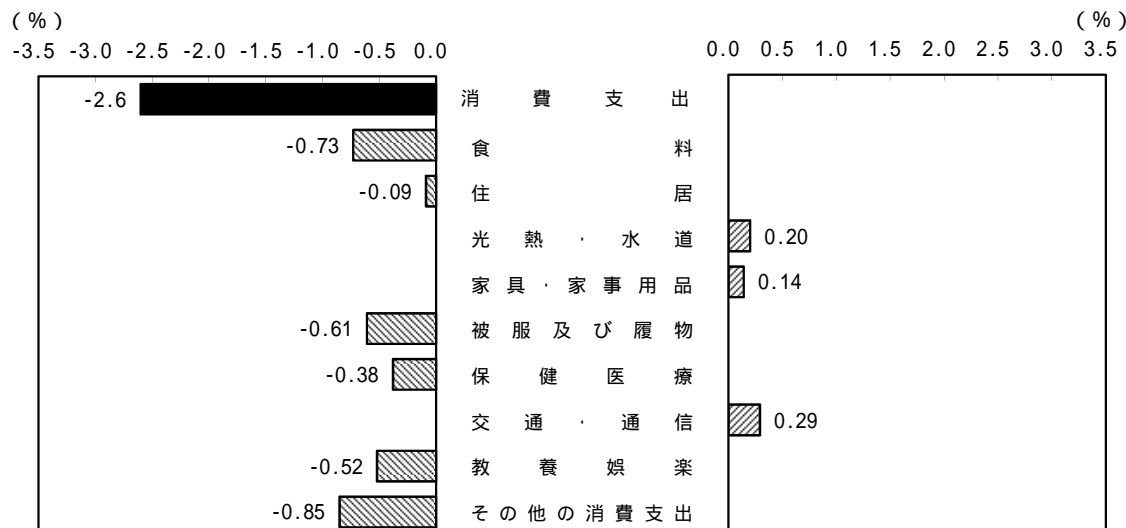


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年4～6月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

（注）統計調査員による不正事務の発生に伴い、平成23年12月分から24年2月分までの結果に係る部分について、再集計を行った。